

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【公開番号】特開2015-223489(P2015-223489A)

【公開日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-078

【出願番号】特願2014-112344(P2014-112344)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前側に遊技領域を有する遊技盤と、

遊技球を前記遊技領域から排出するアウト口と、

遊技球が入球可能な入球手段を有し且つ前記遊技領域における前記アウト口よりも上側に配置される入球装置と、

磁気を検知可能な磁気センサとを備えた

遊技機において、

前記入球装置は、前記遊技盤に対して前側から装着される前装着体と、前記遊技盤及び
/又は前記前装着体に対して後側から装着される後装着体とを有し、

前記磁気センサを支持するセンサ支持部を前記後装着体の下部側に設けた

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、前側に遊技領域12aを有する遊技盤12と、遊技球を前記遊技領域12aから排出するアウト口37と、遊技球が入球可能な入球手段50, 51, 150を有し且つ前記遊技領域12aにおける前記アウト口37よりも上側に配置される入球装置42, 42, 151と、磁気を検知可能な磁気センサ84とを備えた遊技機において、前記入球装置42, 42, 151は、前記遊技盤12に対して前側から装着される前装着体71と、前記遊技盤12及び/又は前記前装着体71に対して後側から装着される後装着体72とを有し、前記磁気センサ84を支持するセンサ支持部85を前記後装着体72の下部側に設けたものである。

また、前側に遊技領域12aを有する遊技盤12と、遊技球が入球可能な入球手段50, 51, 150を有し且つ前記遊技領域12aに配置される入球装置42, 42, 151と、磁気を検知可能な磁気センサ84とを備えた遊技機において、前記入球装置42,

4 2 , 1 5 1 は、前記遊技盤 1 2 の前面に沿って配置される前面部材 7 3 , 1 6 1 を備え、前記前面部材 7 3 , 1 6 1 の後側近傍に前記磁気センサ 8 4 を配置してもよい。